

# 小規模多機能型居宅介護 竹の郷

## 運 営 規 程

### （目 的）

第1条 この規程は、社会福祉法人 瀬戸福慈会が設置する指定地域密着型（介護予防）サービスに該当する小規模多機能型居宅介護 竹の郷（以下「竹の郷」といいます。）の適正な運営を確保するための人員及び管理運営に関する事項を定め、要支援1、2、要介護状態にある利用者に対して適切なサービスを提供することを目的とします。

### （基本方針）

第2条 利用者が可能な限り、住み慣れた地域でその人らしい暮らしが実現できるよう、通い、訪問、宿泊等を柔軟に組み合わせることにより、家庭的な環境と地域住民との交流の下で、必要な日常生活上の援助を行い、利用者がその有する能力に応じその居宅において自立した日常生活を営むことができることを目的とします。

### （運営方針）

第3条 竹の郷で提供するサービスは、利用者一人ひとりの人権を尊重し、その人がその人らしく家庭的な環境の下で日常生活を送ることができるようサービスを提供します。

2 竹の郷で提供するサービスは、介護保険法並びに関係する厚生労働省令、告示、松山市条例の主旨及び内容に沿ったものとします。

3 利用者が住み慣れた地域で生活を継続することができるよう、地域住民との交流や地域活動への参加を図り、利用者の心身の状況やその置かれている環境を踏まえて、通い、訪問及び宿泊を柔軟に組み合わせることにより、サービスを提供します。

4 竹の郷のサービス提供にあたっては、（介護予防）小規模多機能型居宅介護計画に基づき、漫然かつ画一的にならないように、利用者が日常生活を営むことができるよう必要なサービスを提供します。

5 竹の郷では、居宅サービス事業者や他の保健医療機関との密接な連携を図り、サービスを提供します。

6 竹の郷のサービス提供にあたっては、利用者に身体的拘束その他利用者の行動を制限する行為は行いません。但し、利用者又は他の利用者等の生命を保護するため緊急やむを得ないと判断した場合は、その様態及び時間、その際の心身の状況及び緊急やむを得ない理由を記録するものとします。

7 竹の郷のサービス提供にあたっては、あらかじめ利用者または家族に対し、サービスの提供等について、わかりやすく説明を行います。

8 利用者が通いサービスを利用していない日においては、可能な限り、訪問サービスの提供、電話による見守り等を行い、生活を支えるための適切なサービスを提供します。

9 利用者の要介護状態の軽減または悪化の防止に資するよう、その目標を立て、計画的に

行います。

10 提供する竹の郷のサービスの質の評価を行うとともに、定期的に外部の者による評価を受けて、それらの情報を公表し、常に改善を図ります。

(事業所の名称)

第4条 事業所の名称は次のとおりとします。

小規模多機能型居宅介護 竹の郷

(事業所の所在地)

第5条 事業所の所在地は次のとおりとします。

愛媛県松山市大山寺町1470番地

(従業員の職種、員数及び職務内容)

第6条 事業所に勤務する従業員の職種、員数及び職務内容は次のとおりとします。

(1) 管理者 1人

事業を代表し、業務の総括にあたります。

(2) 介護支援専門員 1人

利用者及び家族の必要な相談に応じるとともに、適切なサービスが提供されるよう、利用者の居宅サービス計画及び(介護予防)小規模多機能型居宅介護計画(以下「居宅介護計画」といいます。)の作成の取りまとめ、地域包括支援センターや他の関係機関との連絡・調整を行います。

(3) 看護職員 1人

利用者の健康状態の把握を的確に行うことにより、関係医療機関と連携を図るなど、利用者に対し適切な介助を行います。

(4) 介護従事者10人

竹の郷のサービス提供にあたり利用者の心身の状況等を的確に把握し、利用者に対し適切な介助を行います。

また、宿泊に対して1人以上の夜勤職員を配置します。その他自宅等で暮らしている方々に対して、オンコール(自宅待機者)を1名以上配置します。

(営業日及び営業時間)

第7条 事業所の営業日及び営業時間は次のとおりとします。

(1) 営業日 年中無休とします。

(2) 営業時間

① 通いサービス(基本時間) 7時～19時

② 宿泊サービス(基本時間) 19時～7時

③ 訪問サービス 24時間

(利用定員)

第8条 当事業所における登録定員は25人とします。

(1) 1日に通いサービスを提供する定員は15人とします。

(2) 1日に宿泊サービスを提供する定員は9人とします。

(竹の郷の提供するサービスの内容)

第9条 竹の郷の提供するサービスの内容は次のとおりとします。

(1) 通いサービス

竹の郷において、食事や入浴、排せつ等の日常生活上の必要な援助や機能訓練を提供します。

①日常生活の援助

日常生活動作能力に応じて、必要な介助を行います。

ア. 移動の介助

イ. 休養

ウ. 通院等の介助やその他必要な介護

②健康チェック

血圧測定等の利用者の身体状態の把握

③生活リハビリ(機能回復訓練)

利用者が日常生活を営むのに必要な機能を維持するための生活リハビリ及び利用者の心身の活性化を図るための必要な援助を行います。また、外出の機会の確保その他利用者の意向を踏まえた地域社会生活の継続のための支援を行います。

ア. 日常生活動作を通じた機能回復訓練

イ. レクリエーション

ウ. 地域活動への参加

④食事支援

ア. 食事援助目標による個別援助

イ. 食事の準備

ウ. 食事介助及び見守り支援

⑤入浴支援

ア. 入浴援助目標による個別援助

⑥排せつ支援

ア. 排せつ援助目標による個別援助

イ. 利用者の状況に応じて適切な排せつの介助

⑦送迎支援

利用者の希望による、ご自宅と事業所間の送迎サービス

(2) 訪問サービス

利用者の自宅にお伺いし、食事や入浴、排せつ等の日常生活上の世話や機能回復訓練など必要なサービスを提供します。

(3) 宿泊サービス

竹の郷に宿泊していただき、食事、入浴、排せつ等の日常生活上の援助や機能回復訓練を

提供します。

(4) 相談・助言等

利用者やその家族の日常生活における介護等に関する相談及び助言、申請代行等を行います。

(居宅介護計画)

第10条 小規模多機能居宅介護のサービス提供を開始する際には、利用者の心身の状況及びその置かれている環境等を十分に把握し、個別に居宅介護計画を作成します。

2 居宅介護計画の作成にあたっては、地域における活動への参加の機会の提供により、利用者の多様な活動の推進に努めます。

3 利用者の心身の状況及びその置かれている環境を踏まえ、他の関係介護職員との協議の上、援助目標を設定し、その達成のための具体的なサービスの内容等を記載した居宅介護計画を作成します。

4 居宅介護計画の作成にあたっては、援助の目標及び内容について説明し、利用者の同意を得ます。

5 居宅介護計画を作成した際には、居宅介護計画を利用者に交付します。なお、交付した居宅介護計画は、5年間保存します。

6 利用者に対し、居宅介護計画に基づいてサービスを提供するとともに、継続的なサービスの管理、評価を行います。

7 居宅介護計画の作成後においても、常に居宅介護計画の実施状況及び利用者の心身の変化等の把握を行い、必要に応じて居宅介護計画の変更を行います。

(竹の郷の利用料)

第11条 提供する小規模多機能居宅介護の利用料は、介護報酬の告示上の額とし、提供されるサービスが法定代理受領サービスの場合は介護報酬の1割または2割とします。法定代理受領サービス以外は介護報酬の告示上の額とします。ただし、次に掲げる項目について、別に利用料金の支払いを受けます。

(1) 宿泊は、1泊につき1,970円をご請求します。

(2) 食費は、利用した食事に対して、朝食400円、昼食520円、夕食520円をご請求します。

(3) オムツ代は、実費をご請求します。

(4) 前各号に掲げるもののほか、竹の郷の中で提供されるサービスのうち、日常生活においても通常必要となるものにかかる費用で、その利用者が負担することが適当と認められる費用につき、実費をご請求します。

2 前項に定める費用の支払いを含むサービスを提供する際には、事前に利用者またはその家族に対して必要な資料を提示し、当該サービスの内容及び費用の説明をした上で、利用者の同意を確認します。また、併せて、その支払いの同意する旨の文書に署名（記名押印）を受けます。

3 利用料の支払いは、現金、銀行振込により指定期日までに受けます。

(通常の事業の実施地域)

第12条 通常の事業の実施区域は次のとおりとします。

松山市 (島しょ部除く)

(サービスの提供記録の記載)

第13条 (介護予防) 小規模多機能型居宅介護のサービスを提供した際には、その提供日数及び内容、(介護予防) 小規模多機能居宅介護について、利用者に代わって支払いを受ける介護報酬の額、その他必要な記録を所定の書面に記載します。

(個人情報保護)

第14条 利用者の個人情報を含む居宅介護計画、各種記録等については、関係法令及びガイドライン等に基づき個人情報の保護に努めるものとします。

(秘密保持)

第15条 事業所の従業員は、業務上知り得た利用者またはその家族の秘密保持を厳守するため、従業員でなくなった後も秘密を漏らすことがないように、就業規則に記載するとともに誓約書を提出しなければなりません。

(苦情処理)

第16条 提供した(介護予防) 小規模多機能型居宅介護に関する利用者及び家族からの苦情に対して、迅速かつ適切に対応するため、受付窓口の設置、担当者の配置、事実関係の調査の実施、改善措置、利用者または家族に対する説明、記録の整備その他必要な措置を講じるものとします。

具体的には、相談窓口から処理に至るまでの概要について、利用者またはその家族にサービス内容を説明する文書に苦情に対する措置の概要について記載するとともに、事業所に掲示します。

2 提供した(介護予防) 小規模多機能型居宅介護のサービスに関する利用者及び家族からの苦情を受付けた場合には、当該苦情の内容等を記録します。

3 苦情がサービスの質の向上を図る上での重要な情報であるとの認識に立ち、苦情の内容を踏まえ、サービスの質の向上に向けた取り組みを行います。

4 提供した(介護予防) 小規模多機能型居宅介護に関し、介護保険法第23条の規定により市町村が行う文書その他物件の提出もしくは提示の求めまたは当該市町村の職員からの質問もしくは照会に応じます。また、利用者または家族からの苦情に関して市町村が行う調査に協力するとともに、市町村から指導または助言を受けた場合においては、当該指導または助言に従って必要な改善を行います。

5 提供した(介護予防) 小規模多機能型居宅介護のサービスに係る利用者または家族からの苦情に関して国民健康保険団体連合会からの指導または助言を受けた場合においては、当該指導または助言に従って必要な改善を行います。

（虐待防止のための措置）

第17条 事業所は虐待の発生及び再発を防止するため、下記に掲げる措置を講じる。

- 一 虐待の防止に係る対策を検討するための委員会（テレビ電話措置等を活用して行うことができるものとする。）を定期的に開催するとともに、その結果について、従業員に十分に周知する。
- 二 虐待の防止のための指針を整備する。
- 三 従業員に対し虐待の防止のための研修を定期的実施する。
- 四 前三号に掲げる措置を適切に実施するための担当者を置く。

2 事業所は、サービス提供中に、従業者又は養護者（利用者の家族等利用者を現に養護する者）による虐待を受けたと思われる利用者を発見した場合は、速やかに市町村に通報する。

（事故発生時の対応）

第18条 サービスの提供により事故が発生したときは、速やかに家族に連絡するとともに、必要な措置を行うものとします。

- 2 事故の状況及び事故に際して採った処置について記録します。
- 3 利用者に対するサービスの提供により賠償すべき事故が発生した場合には、損害賠償を速やかに行うものとします。
- 4 事故が生じたその原因を解明し、再発防止のための対策を講じます。

（衛生管理）

第19条 サービス提供の際に使用する施設、食器その他備品等について、感染症等防止のための衛生管理に努め、衛生管理上必要な対策を講じるものとします。

2 職員へは、研修や勉強会を通じ感染症対策や衛生管理に関する知識の習得を図ります。

（緊急時における対応方法）

第20条 サービス提供を行っているときに、利用者に病状の急変その他必要な場合には、速やかに主治医及び家族へ連絡を行うとともに必要な措置を講じるものとします。

2 主治医との連絡及び指示が得られなかった場合には、あらかじめ事業所が定めた協力医療機関へ連絡するとともに受診等の適切な処置を講じます。

（非常災害対策）

第21条 従業者は常に災害事故防止と利用者の安全確保に努めるものとする。

- 2 管理者は防火管理者を選任する。
- 3 防火管理者は、定期的に消防設備、救出用設備等を点検するものとする。
- 4 防火管理者は、非常災害に関する具体的計画を立てるものとし、事業所内の見やすい場所に掲示する共に事業所はこの計画に基づき、毎年二回避難訓練及び救出その他必要は訓練を行う。

（運営推進会議）

第22条 竹の郷が地域に密着し地域に開かれたものにするために、運営推進会議を開催し

ます。

2 運営推進会議の開催は、おおむね2ヶ月に1回以上とします。

3 運営推進会議のメンバーは、利用者、利用者家族、地域住民の代表者、松山市担当者、地域を管轄する地域包括支援センターの職員、及び小規模多機能居宅介護についての知見を有する者とします。

4 会議の内容は、事業所のサービス内容の報告及び利用者に対して適切なサービスが行われているかの確認、地域との意見交換・交流等とします。

5 運営推進会議の報告、評価、要望、助言等についての記録を作成するとともに、当該記録を公表します。

(記録の整備)

第23条 事業所は、職員、設備、備品及び会計に関する諸記録を整備します。

2 利用者に対する居宅サービスの提供に関する次に掲げる記録を整備し、その完結の日から5年間保存します。

- ・ 居宅サービス計画書
- ・ 小規模多機能型居宅介護計画書
- ・ 提供した具体的サービスの内容等の記録
- ・ 身体拘束に係る記録
- ・ 市町村への通知に係る記録
- ・ 苦情に係る記録
- ・ 事故に係る記録
- ・ 運営推進会議における報告、評価、要望、助言等の記録

(その他運営についての留意事項)

第24条 職員の質の向上を図るため、次のとおり研修の機会を設けます。

(1) 採用時研修 採用後1か月以内

(2) 定期的研修 随時

2 職員等は、利用者の居宅を訪問時、所属を証明する所属証明書を携行し、利用者または家族から求められたときはこれを提示します。なお、事業所内には、所属を明らかにする担当職員表を見やすい場所に掲示します。

3 サービス担当者会議において、利用者の個人情報を用いる場合は利用者の同意を、利用者の家族の個人情報を用いる場合には当該家族の同意を、あらかじめ文書により得ておくものとします。

4 (介護予防) 小規模多機能型居宅介護のサービス提供の開始に際し、あらかじめ、利用者申込者及びその家族に対し、運営規程の概要、従業員の勤務体制その他の利用申込者のサービス選択に資すると認められる重要事項を記載した文書を交付して説明を行い、当該提供の開始について利用申込者の同意を得ます。

5 事業所の通常の事業の実施地域等を勘案し、利用申込者に対し自ら適切な提供すること

が困難であると認められた場合は、適当な他の（介護予防）小規模多機能型居宅介護事業者等の紹介その他の必要な措置を速やかに講じるものとします。

6 この規程に定める事項のほか、運営に関する重要事項は、管理者が定めるものとします。

付 則

1 この運営規程は、平成 28 年 11 月 1 日から施行する。

平成 28 年 11 月 23 日 改定

令和 元年 5 月 10 日 改定

令和 3 年 11 月 1 日 改定

令和 5 年 4 月 1 日 改定